

令和7年度「プレーパーク事業【プレイス型】」業務委託契約にかかる  
公募型企画競争方式（プロポーザル方式）による受託事業者の選定結果について

1 案件名称

プレーパーク事業【プレイス型】

契約期間：令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

2 選定した委託予定事業者

名称：プレーパーク事業共同体

（特定非営利活動法人こどもの里・特定非営利活動法人釜ヶ崎支援機構・  
TEAM TO PLAY, TO LIVE・にしなり☆あそびパーク Project）

3 公募期間

令和7年1月6日から令和7年1月31日

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略）

役職等	氏名
・神戸女子大学 家政学部 教授 ・NPO法人 日本冒険遊び場づくり協会 理事	梶木 典子
常磐会短期大学 幼児教育課 教授	ト田 真一郎
こども家庭庁 参与	辻 由起子

(2) 選定会議（委員会）の開催日

第1回：令和6年12月5日から令和6年12月18日

※オンライン実施（電子メール）

第2回：令和7年2月21日

(3) 審査基準

評価項目	採点基準	配点
提案内容の有効性	西成区の子育て環境等の現状や課題、本業務の目的を踏まえ、全体として「自由に遊べる居場所」を実現する提案となっているか	10
	プレーパーク事業の趣旨を理解し、「あそび場」「まなび場」「たまり場」において子どもの自主性、社会性の獲得などにつながる提案となっているか	20
	開催場所に応じた効果的な提案となっているか	10
	広報について、広く認知してもらい、多くの利用者につながるような手段や方法を提案しているか	10

提案内容の実現性	提案内容を確実に実施するための適切な実施体制やスケジュールを提案しているか、また提案者がその体制を構築できる運営基盤、類似業務の実績を有しているか	10
	経験や資格等を有し、本事業を的確に遂行できるスタッフを充てているか また地域や子育て支援機関等と密に協力・連携し、効果的な運営を行う提案となっているか	15
	安全・危機管理に配慮されており、そのための適切な体制が計画された提案内容であるか、また個人情報の取り扱いについて、適切かつ安全に管理できる体制であるか	10
	提案内容に対して費用及び積算根拠が妥当であるか	15
合計		100

(4) 審査を行った事業者

プレーパーク事業共同体

(特定非営利活動法人こどもの里・特定非営利活動法人釜ヶ崎支援機構・TEAM TO PLAY, TO LIVE・にしなり☆あそぼパーク Project)

全 1 事業者

(5) 審査の結果 (選定委員の評価点の合計点)

評価項目	A 事業者
提案内容の有効性	129
提案内容の実現性	118
合 計	247

(審査を行った事業者は 1 事業者)

(6) 付帯意見

- ・地域の課題を把握し、さまざまな課題のある子どもや保護者への支援も視野に入れながら事業を進めてきた実績があり、子どもに寄り添って事業をおこなっていることが評価できる。
- ・年間を通して各所で満遍なく開催するような仕様となっているが、猛暑による夏季等屋外活動が困難な期間は、実施場所の特性を活かし開催日程を工夫するなど、発注者と協議して開催し、目標利用者数の達成にも努められたい。
- ・多言語表記を活用した広報についても積極的に検討されたい。子どもや保護者が誰でも気軽に参加できる居場所となれば、国際的な交流や様々な支援につながることも事業効果として期待できる。
- ・円滑に事業実施を行うため、発注者、地域や関係機関と多方面にわたり調整が必要であり、事務局には専任で担当者を配置することを検討されたい。